

所 属	県土整備部技術検査課		
係 名	建設技術係・建設業係	内線	2294・3647

建設業を支える人材の育成・確保

1 事業費 55,548 (前年度 62,925)

【財源内訳】 【主な使途】

国庫	8,794	補助金	37,598
一般財源	46,754	需用費他	17,950

2 背景・事業目的

少子高齢化による労働人口の減少により、県内のあらゆる分野で担い手不足が生じている。とりわけ建設業界では、就労者の高齢化により今後10年間で大量の離職が見込まれることから、将来の深刻な担い手不足が懸念されている。

このため、産学官が連携して労働環境の改善、ICTの活用による建設業の魅力向上及び建設現場の生産性向上などの取組みを拡充し、建設業の担い手の育成・確保を図る。

3 事業概要

(1) ぎふ建設人材育成リーディング企業認定制度の運用 (3,800 千円)

労働環境の改善や人材の育成等に積極的に取り組む企業を認定し、建設業のイメージアップを図るとともに、対象を建設関係コンサルタント業へ拡大する。

(2) 建設現場の環境改善・生産性向上のためのモデル工事の実施

若手や女性技術者の人材確保に向け、建設現場の労働環境改善や生産性向上を図るため、「週休2日制モデル工事」、「建設現場環境改善モデル工事」、「ICTを活用したモデル工事」を拡大実施する。

(3) オール岐阜・企業フェスでの建設業の魅力発信 (6,500 千円)

企業及び学生が集う県内最大規模の「オール岐阜・企業フェス」において建設業ゾーンを設け、建設業者の魅力を発信する機会を創出する。

新 (4) 小中学生等を対象とした魅力発信 (7,650 千円)

将来的な建設業の担い手の確保を図るため、PR冊子の制作・配布や出前授業等により、建設業の魅力発信を行う。

(5) 建設ICT人材育成センターの運営 (37,598 千円)

建設人材の育成・確保施策の推進拠点である「建設ICT人材育成センター」の運営や技術力・生産性向上を目的とした研修、建設業の魅力発信等に要する経費を助成する。

(款) 8 土木費	(項) 1 土木管理費	(目) (3) 建設業指導監督費
(明細書事業名)	○建設業許可事務費	建設産業構造改善推進事業費

所属	県土整備部技術検査課・道路維持課・河川課・砂防課		
係名	建設技術係・建設情報係・維持管理係・路政係・維持係・企画係	内線	2294・3630・3736・3715・3731・3742

ICTを活用した社会資本の整備・維持管理の高度化

1 事業費 242,348 (前年度24,843)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	68,434	委託料	211,482
県債	28,500	使用料	24,455
一般財源	145,414	備品購入費	4,653

2 背景・事業目的

道路・河川・砂防施設といった社会資本は、高度経済成長期に集中的に整備されたため、老朽化による維持管理が大きな課題となっている。一方で、県内の建設業界では、担い手不足が進んでいる。

そのため、ICTを活用し生産性の向上を図ることで、社会資本の効率的かつ効果的な整備や維持管理を推進し、安全な社会資本の提供を継続する。

3 事業概要

新 (1) CIMの本格導入に向けた3次元設計の試行

社会資本の計画・調査・設計から施工・維持管理まで3次元データを活用し、業務効率化・高度化を図るCIMの導入に向け、3次元設計業務を試行する。

※CIM・・・Construction Information Modeling/Managementの略

新 (2) IoTを活用した現場確認業務の迅速化・効率化(9,900千円)

IoTを活用し土木事務所等にしながら現場確認業務を遠隔実施することで、業務の迅速化・効率化を図る。

新 (3) 除雪業務の効率化(95,226千円)

除雪に関する事務手続きの簡素化やGPSを活用した除雪作業支援システムの導入のため、岐阜県道路雪情報システムを改修する。

(4) ICTを活用したモデル工事の実施〔再掲〕

建設現場の生産性、安全性を向上させるため、ドローンによる3次元測量や3次元設計データを利用したICT建機による施工等の普及を図る。

新 (5) 災害時でもわかりやすい道路情報の提供(103,595千円)

平成30年7月豪雨等の災害を受け、県民や道路利用者に対しより分かりやすい道路規制情報を提供できるよう、道路情報提供システムを改修する。

(6) タブレット端末による社会資本等の点検(33,627千円)

維持管理の高度化のため、道路や河川管理施設の点検、砂防指定地の監視にタブレット端末を活用し、効率的に情報収集等を行う。

(款) 8土木費 (項) 1土木管理費 他 (目) (1)土木総務費 他
(明細書事業名) ○査察指導費 他、査察指導費 他

所 属	県土整備部河川課・砂防課		
係 名	改良係・砂防保全係	内線	3723・3744

水害や土砂災害から命と暮らしを守る基盤整備の推進

1 事業費	18,784,443 (前年度 17,802,073)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	4,683,197	工事請負費 8,779,571
	県債	10,167,700	委託料 4,549,136
	使用料	2,064,818	直轄負担金 3,111,000
	一般財源	1,755,414	用地補償費 1,383,900
	その他	113,314	

2 背景・事業目的

近年、台風や局地的・集中的な豪雨等による大規模な水害や土砂災害が全国的に頻発する中、平成30年7月豪雨では、岐阜県内でも大きな被害が発生した。

このため、河川の改修や砂防堰堤の整備等、命と暮らしを守るための水害・土砂災害対策を推進する。

3 事業概要

(1) 水害対策(12,754,413千円)

平成30年7月豪雨等により、近年浸水被害を受けた河川の改修と排水機場やダム等の河川管理施設の長寿命化対策を計画的・重点的に実施する。

【河川改修】

津保川(関市)、境川(岐阜市他)、鳥羽川(山県市)、犀川(瑞穂市)、水門川(大垣市)、杭瀬川(大垣市)、津屋川(海津市、養老町)、長良川(関市他) ほか

【長寿命化対策】

山田川排水機場(岐阜市)、旧水門川排水機場(大垣市)、阿多岐ダム(郡上市)

(2) 土砂災害対策(6,030,030千円)

避難所・避難路を保全する箇所、流木による被害の危険性が高い箇所、要配慮者利用施設・防災拠点等のある箇所において、砂防堰堤等施設の整備を計画的・重点的に実施する。

【砂防事業(土石流対策)】

寺ヶ洞(郡上市)、月見2-2谷(多治見市)、小畑谷(高山市)、福崎谷1(中津川市)、今須川西の谷(関ヶ原町)、牧戸谷(飛騨市) ほか

【擁壁等(がけ崩れ対策)】

芥見南山(岐阜市)、西谷2(関ヶ原町)、神明前(関市)、裏山(七宗町)、和田(下呂市) ほか

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (3) 河川改良費 (明細書事業名) ○公共事業 他、広域河川改修費 他

(款) 8 土木費 (項) 4 砂防費 (目) (3) 砂防事業費 他 (明細書事業名) ○公共事業 他、通常砂防費 他

所 属	県土整備部道路建設課・道路維持課		
係 名	改良係・企画係・市町村道係・路政係	内線	3688・3713・3715

迅速な復旧に不可欠な道路ネットワークの確保

1 事業費	31,884,710 (前年度 29,026,736)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	4,485,478	工事請負費 7,027,342
	県債	26,279,900	委託料 2,189,941
	負担金	760,895	負担金 19,360,000
	一般財源	358,437	(直轄道路事業負担金)

2 背景・事業目的

近い将来、発生が懸念される南海トラフ地震や頻発する豪雨災害時には、被災地への迅速な災害救援活動が求められる。

そのため、緊急時における道路機能の確保を目的とした訓練を実施するなど防災体制の強化を図る。

3 事業概要

(1) 災害に強い道路整備の推進(31,872,310 千円)

早期復旧の要となる緊急輸送道路等の機能確保を目的とした整備を推進する。

- [道路拡幅等] (国)257号 川上^{かおれ}バイパス(下呂市)ほか
- [斜面对策] (国)417号 揖斐^{えび}工区(揖斐川町)ほか
- [橋りょう耐震] (主)大垣一宮線 高橋(大垣市)ほか

新 (2) 道路啓開作業訓練の実施(2,400 千円)

道路上のガレキや放置車両などの障害物を迅速に取り除き、緊急車両の通行ルートを確認する道路啓開の訓練を、国や災害時応援協定を締結している建設業協会等と連携して実施する。

※道路啓開

緊急車両等の通行のため、1車線でも通れるよう、早急に最低限のガレキ処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けることをいう。

(3) 官民連携による危険木の解消(10,000 千円)

災害時に道路機能の障害となり得る県管理道路沿いの民有地内樹木について、市町村と連携し、所有者に伐採経費の一部を助成する。

これまで助成対象としていた緊急輸送道路に加えて、新たに、孤立の恐れがある集落に通じる県管理道路にも対象を拡充する。

[負担割合] 県(1/2)、市町村・所有者(1/2)

(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)(2)道路橋りょう維持費 他 (明細書事業名)○公共事業 他、橋りょう補修費 他
(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)(1)道路総務費 (明細書事業名)○道路諸費、道路諸費
(款)8土木費(項)2道路橋りょう費(目)(1)道路総務費 (明細書事業名)○道路諸費、道路諸費

所 属	県土整備部道路維持課		
係 名	維持管理係	内線	3736

除雪体制の強化による冬期交通の安全確保

1 事業費	551,626 (前年度 740,000)
	【財源内訳】
	国庫 367,750
	県債 166,700
	一般財源 17,176
	【主な用途】
	工事請負費 173,000
	委託料 129,226
	備品購入費 249,400

2 背景・事業目的

県管理道路の除雪作業は、地元の建設業者等に委託しているが、除雪機械の購入・維持にかかる業者の負担が非常に大きく、また、オペレーターの高齢化等が進む中、今後の除雪体制の維持が喫緊の課題となっている。

このため、引き続き県有除雪機械を増強し、地元建設業者へ貸与するなど、地域の安全・安心を確保するために除雪体制の強化を図る。

3 事業概要

(1) 保有機械の増強及び車庫の設置(456,400千円)

除雪機械(除雪ドーザ、除雪トラック及びロータリー除雪車)を増強し、その車庫を設置する。

新 (2) 除雪業務の効率化(95,226千円) [再掲]

除雪に関する事務手続きの簡素化やGPSを活用した除雪作業支援システムを導入するため、岐阜県道路雪情報システムを改修する。

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (3) 道路橋りょう改築費 (明細書事業名) ○ 公共事業 積寒対策道路事業費

所 属	県土整備部河川課		
係 名	企画環境係・開発係	内線	3726・3723

暮らしの安全・安心につながるダム建設事業の推進

1 事業費	2,684,815 (前年度 3,149,815)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	1,380,500	工事請負費 2,234,000
	県債	1,286,800	委託料 269,000
	一般財源	17,515	直轄負担金 149,815

2 背景・事業目的

本県は、3,000m級の山々から海拔0m地帯まで高低差が非常に大きい地形に、木曾三川をはじめとする多くの河川が流れており、河川の氾濫による水害に苦しめられてきた長い歴史がある。

こうした被害を回避・軽減するとともに、渇水時における既得用水の安定取水のため、木曾川上流の新丸山ダムや長良川上流の内ヶ谷ダムの建設を推進する。

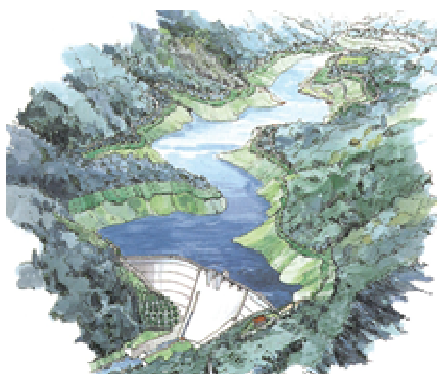
3 事業概要

(1) 国土交通省：新丸山ダム建設事業（八百津町・御嵩町）
(149,815千円)

・転流工工事、付替道路の整備及び水文調査を実施する。

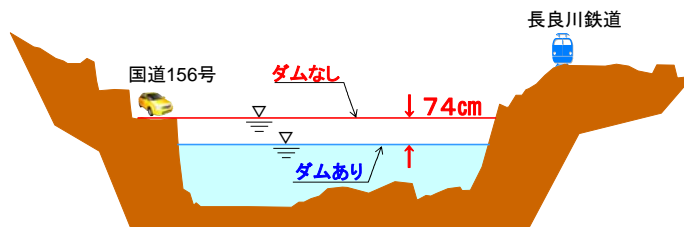
(2) 県：内ヶ谷ダム建設事業（郡上市）(2,535,000千円)

・本体基礎掘削、原石山工事、コンクリート打設工事を実施する。



内ヶ谷ダム完成予想図

※ダム建設により、100年に一度程度発生する大規模な洪水に対し、長良川の亀尾島川合流直後（郡上市）で約74cmの水位低減効果が見込まれる。



内ヶ谷ダムの洪水調節のイメージ図

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (4) ダム建設費 他
(明細書事業名) ○ 公共事業
内ヶ谷ダム建設費 他

所 属	県土整備部河川課・砂防課		
係 名	企画環境係・企画係	内線	3726・3742

水害や土砂災害に備える避難対策の推進

1 事業費	1,770,140 (前年度 1,256,174)		
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫	410,598	工事請負費 692,800
	使用料	49,300	委託料 968,307
	一般財源	1,308,842	
	その他	1,400	

2 背景・事業目的

近年、台風や局地的・集中的な豪雨等による大規模な水害や土砂災害が全国的に頻発する中、平成30年7月豪雨では、岐阜県内でも大きな被害が発生した。

こうした水害や土砂災害から人命を守るため、確実な避難・防災活動に向けた対策を推進する。

3 事業概要

(1) 水害から命を守るための対策(891,544千円)

○避難判断のための情報提供

- ・危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラ等を活用して、河川の氾濫リスクの高まりが分かる防災情報を提供する。
- ・避難判断の参考となる水位情報の精度向上と活用を図る。

○防災意識の向上

- ・地域の潜在的な氾濫リスクを示す水害危険情報図等を活用して、市町村の洪水ハザードマップ・タイムラインの改訂を支援する。

○水防活動の支援

- ・水害の防止・軽減に向け、水防管理団体へ資材を提供する。

(2) 土砂災害から命を守るための対策(878,596千円)

○避難判断のための情報提供

- ・土砂災害警戒区域の見直しと住民への周知を行う。
- ・土砂災害警戒情報を提供する。

○警戒避難体制の整備

- ・確実な情報提供と機能向上に向けた次期土砂災害警戒情報システムを開発する。

○防災意識の向上

- ・市町村の防災訓練や土砂災害ハザードマップ作成に対する支援を行う。

(款) 8 土木費	(項) 3 河川費	(目) (1) 河川総務費
(明細書事業名) ○河川諸費	他、効果促進事業費	他
(款) 8 土木費	(項) 4 砂防費	(目) (3) 砂防事業費
(明細書事業名) ○公共事業	他、総合流域防災事業費	他

所 属	県土整備部道路建設課・道路維持課・河川課・砂防課		
係 名	改良係・維持管理係・維持係・砂防保全係	内線	3688・3736・3731・3744

道路・河川・砂防施設の計画的な維持管理の推進

1 事業費 19,746,617 (前年度 17,937,682)

【財源内訳】

国庫 5,046,290
 県債 5,710,100
 負担金 8,107
 使用料 1,009,519
 諸収入 53
 一般財源 7,972,548

【主な使途】

工事請負費 7,999,949
 委託料 7,277,880

2 背景・事業目的

県が管理する道路・河川・砂防施設は、洪水や土砂崩れ、地震などの災害から人命を守る重要な施設である。これらが、災害時にも確実に機能を発揮するよう、計画的・効率的な維持管理を実施し、施設機能の長期保全を図る。なお、国においても重要インフラの緊急点検の結果等を踏まえた緊急対策を集中的に取り組むこととしている。

3 事業概要

(1) 道路施設 (18,289,617 千円)

- 【法 面 対 策】 (国) 360号 種蔵・打保バイパス (飛騨市)
 (主) 金山明宝線 畑佐・小川峠工区 (郡上市) ほか
- 【舗 装 補 修】 (主) 北方多度線 生津工区 (瑞穂市)
 (一) 今尾大垣線 今福工区 (大垣市) ほか
- 【橋りょう補修】 (主) 北野乙狩線 上牧橋 (美濃市)
 (主) 恵那蛭川東白川線 龍淵橋 (中津川市) ほか
- 【トンネル補修】 (国) 158号 平湯トンネル (高山市)
 (国) 303号 椿井野トンネル (揖斐川町) ほか
- 【施 設 点 検】 (国) 257号 かおれトンネル (下呂市)
 (一) 肥田下石線 白沢大橋 (土岐市) ほか

(2) 河川・砂防施設 (1,437,000 千円)

- 【河川管理施設】 長寿命化対策・・・山田川排水機場 (岐阜市)、
 旧水門川排水機場 (大垣市) ほか
- 【砂 防 施 設】 長寿命化対策・・・能郷谷 (本巣市)、宮谷 (養老町)、
 島口川 (関市)、阿木川 (中津川市)
 ほか

新 (3) 災害時応急対策用資機材備蓄拠点の追加整備 (20,000 千円)

平成30年7月豪雨を受け、使用頻度の高い資機材を備蓄するサテライト拠点を追加整備し、より迅速な応急対策を実現する。

(款) 8土木費 (項) 2道路橋りょう費 他 (目) (2)道路橋りょう維持費 他
 (明細書事業名) ○公共事業 他、橋りょう補修費 他

所 属	県土整備部道路維持課		
係 名	安全防災係	内線	3716

安全・安心な通学路等の整備の推進

- 1 事業費 1,320,000 (前年度 1,230,000)
- | | |
|--------------|---------------|
| 【財源内訳】 | 【主な使途】 |
| 国庫 598,500 | 工事請負費 523,600 |
| 県債 572,700 | 委託料 337,100 |
| 一般財源 148,800 | |

2 背景・事業目的

本県では、通学路における交通安全の確保のため、道路管理者、交通管理者及び地元自治体等の関係者が連携し、定期的な合同点検や様々な交通安全対策を実施している。

通学路上の対策が必要な箇所や死亡事故の発生箇所、重大事故の危険性が高い箇所等において、歩道等の整備を行い、道路利用者の安全で安心な通行環境の確保を図る。

3 事業概要

【通学路等の歩道整備、交差点改良、防護柵・道路標識の整備等】

- ・(主) 岐阜巣南大野線 (岐阜市琴塚)
- ・(主) 岐阜南濃線 (羽島市足近町)
- ・(一) 揖斐川谷汲山線 (揖斐川町三輪)
- ・(主) 関本巣線 (関市千疋～岐阜市中屋東)
- ・(一) 富加坂祝線 (美濃加茂市加茂野町今泉)
- ・(主) 瑞浪上矢作線 (恵那市山岡町下手向)
- ・(一) 谷高山線 (高山市国府町名張) ほか



通学路危険箇所の状況

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (4) 交通安全対策費 (明細書事業名) ○公共事業 他 交通安全施設等整備事業費 他

所 属	県土整備部技術検査課・河川課		
係 名	建設技術係・企画環境係	内線	2294・3726

清流を次代へつなぐ川づくりの推進

1 事業費 198,691 (前年度 195,560)

【財源内訳】

国庫 11,000
 県債 19,800
 使用料 81,968
 繰入金 50,000
 一般財源 35,923

【主な使途】

工事請負費 110,477
 委託料 73,773

2 背景・事業目的

地域の歴史や伝統文化、経済と深くつながる「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されるなど、「清流」は、本県が世界に誇る資源であると同時に県のアイデンティティともいえる存在となっている。そのため、これまで守り引き継がれてきた「清流」を次代へつなぐため、自然と共生した川づくりと人づくりを一体で展開する。

3 事業概要

(1) 清流を育む人づくり(15,691千円)

- ・小中学校の総合学習における、川を題材とした学習を支援する。
- ・岐阜県自然工法管理士養成のための講習会を開催する。

(2) 水生生物の生息環境の確保(150,000千円)

- ・県管理河川や砂防施設に設置された魚道の維持管理を行うため、県民にフィッシュウェイ・サポーターになっていただき、協働で点検等を実施する。
- ・地元住民や関係機関と連携した、里川から里山までの水みちの連続性を確保する取組みを継続する。

(3) 水辺空間を活かした魅力あるまちづくり(33,000千円)

- ・河川を活用した地域の魅力・活力の向上の取組みを支援する。
 …たかほらがわ高原川(飛騨市)、かすがわ粕川(揖斐川町)
- ・「かわまちづくり支援制度(国)」を活用した親水空間を整備する。
 …すいもんがわ水門川(大垣市)、かわうらがわ川浦川(富加町)

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (1) 河川総務費 他 (明細書事業名) ○河川管理費 他 ぎふの清流保全事業費 他
--

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	高速道路係・改良係	内線	3691

東海環状自動車道西回り区間及び I C アクセス道路の整備促進

1 事業費	20,353,760 (前年度 20,282,667)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫 1,114,750	工事請負費 1,546,845	
	県債 19,001,900	委託料 513,650	
	負担金 146,629	負担金 16,666,667	
	一般財源 90,481	(直轄道路事業負担金)	

2 背景・事業目的

東海環状自動車道は、中京圏の広域ネットワークを形成する高規格幹線道路であり、西回り区間の整備により、国際競争力の強化、国土強靱化、防災・減災、企業立地、広域観光などへの効果が期待されている。

このため県では、東海環状自動車道の整備を最重点プロジェクトのひとつとして位置づけ、早期全線開通に取り組んでいるところであり、引き続き重点的に予算配分し、事業が一層推進されるよう、国に対し要請するとともに、開通時期を見据えたアクセス道路の整備を推進していく。

3 事業概要

- (1) [国直轄事業]東海環状自動車道西回り区間(16,666,667千円)
未開通区間において、引き続き、国による用地取得と工事を促進する。
【2019年度開通予定】 関広見 I C ~ (仮称) 高富 I C
(仮称) 大野・神戸 I C ~ 大垣西 I C

- (2) [県事業]アクセス道路整備 (3,687,093千円)
【2019年度開通予定】

(国) 256号 高富バイパス (山県市)
(主) 岐阜関ヶ原線 丈六道工区 (神戸町)

【継続事業箇所】

(主) 岐阜美山線 大学北工区 (岐阜市)
(国) 157号 三橋工区 (本巣市)
(主) 岐阜関ヶ原線
宗慶・温井Ⅱ期工区 (本巣市) ほか



(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (5) 直轄事業負担金	他
(明細書事業名) ○公共事業		他	
		直轄道路事業負担金	他

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	企画係・改良係	内線	3692

濃飛横断自動車道の整備推進

1 事業費	945,250 (前年度 589,300)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	304,000	工事請負費 29,000
	県債	359,800	委託料 725,000
	負担金	189,650	
	一般財源	91,800	

2 背景・事業目的

濃飛横断自動車道は、郡上市から下呂市を經由して中津川市へ至る、延長約80kmの地域高規格道路である。本道路整備により沿線地域での生活圏の拡大や主要都市及び交通拠点へのアクセス改善、観光面での経済効果などが期待されている。

また、リニア中央新幹線岐阜県駅へのアクセス道路の南北軸としても位置付けられていることから、2027年の開業に向けて中津川工区などの整備を計画的に進める。

3 事業概要

(1) 整備中区間

- 中津川工区（中津川市）
 - ・調査設計、用地買収
- 付知工区（中津川市）
 - ・調査設計
- 三庫工区（郡上市）
 - ・工事

(2) 未整備区間

- 郡上市八幡町～同市和良町
- 下呂市保井戸～中津川市駒場
 - ・調査設計



濃飛横断自動車道概要図

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (3) 道路橋りょう改築費
(明細書事業名) ○公共事業	道路新設改良費	他

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	改良係・企画係	内線	3688

地域と地域をつなぐ幹線道路等の整備

1 事業費 34,693,292 (前年度 32,477,150)

【財源内訳】

国庫 4,172,250
 県債 28,704,100
 負担金 1,097,410
 一般財源 719,532

【主な用途】

工事請負費 8,131,692
 委託料 2,648,090
 負担金 19,360,000
 (直轄道路事業負担金)

2 背景・事業目的

地域と地域をつなぐ道路は、観光交流や産業振興、大規模災害への備えとして大変重要な役割を果たすことから、幹線道路を中心とした道路ネットワークの整備を推進する。

3 事業概要

(1) 2019年度中に供用を開始する予定の箇所

[直轄国道] 東海環状自動車道 関広見IC～(仮称)高富IC
 (仮称)大野・神戸IC～大垣西IC

[県管理道] (国)256号 高富バイパス(山県市)
 (主)岐阜関ヶ原線 丈六道工区(神戸町)

(2) その他の主要な継続整備箇所

[直轄国道] 中部縦貫自動車道高山清見道路(高山市)
 (国)19号 瑞浪恵那道路(瑞浪市～恵那市)ほか

[県管理道] (主)岐阜美山線 折立I期工区(岐阜市)
 (一)扶桑各務原線 新愛岐道路(各務原市)
 (一)赤坂垂井線 青墓・府中工区(大垣市～垂井町)
 (国)248号 下恵土工区(可児市)
 (国)156号 福島バイパス(白川村)ほか



(主)岐阜関ヶ原線 丈六道工区 工事状況

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (3) 道路橋りょう改築費 他
(明細書事業名) ○公共事業 他	道路新設改良費 他	